

この生きづらい社会...

差別のない未来を

新型コロナウイルス感染症の不安が、世界各地で広がる中、日本でも「生きにくさ」を感じている方たちが増えているようです。私は以前から、この生きづらい社会の背景の一つに「差別」ということがあるのではないかと感じていました。「差別」と聞けば、小学生でも良くないことだと判断が付きそうなものです。しかし、国会議員（衆議院議員杉田水脈さん）が公然と差別発言を繰り返しています。自民党の「性暴力被害」をめぐる会合での「女性は、いくらでも嘘が付けますから」という発言が明らかになり、ブログで言い訳と謝罪はしているようですが、この言葉はどんな理由があろうとも、女性に対する差別です。同じ女性としてとても迷惑、許すことのできない発言です。



日本共産党 戸田市議会議員
むとう葉子

大阪なおみ選手の勇気

一方、テニスプレーヤーの大阪なおみ選手は、どうでしょうか。黒人というだけで差別され命まで奪われた方々の名前を、深い悲しみと怒りを込めてマスクに書き記し、『差別のない世界』と呼び掛けています。テニスよりも人間として自分にはやらなければいけないことがあると、初めは決勝戦を辞退することまで決断していたとのこと。世界中に、勇気と希望を与えてくれました。

私自身にも差別意識がないか

身近な問題でも、新型コロナウイルス感染者について、差別発言を耳にすることがあります。私自身にもそういった差別意識がないか、常に自問しながら活動しています。性差や人種、障がいや疾患などで、差別されることのない未来をつくりたい、今を一步ずつ変えていくことに力を尽くしたいと思っています。

私を見かけたら、最近の話をお聞かせください。また、支部・後援会の皆さんと一緒、駅頭や町中で、街頭宣伝を行っています。見かけたら手を振って応援してください。



いつもニュースをお読みいただきありがとうございます。ご意見、ご要望をお寄せください。

様



発行 日本共産党東部地域・東後援会
戸田市喜沢南2丁目5-16 むとう葉子事務所内
TEL/FAX : 433-5066

部内資料

むとう葉子市議ホームページ

HP : <http://www.mutou-youko.com/>

E-mail : i19414034@gmail.com

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ
しん 赤旗

日刊紙
3,497円
日曜版
930円

浦和駅頭演説会 9/16



塩川鉄也衆議院議員 梅村さえこ衆議院 北関東比例予定候補 日本共産党 小池晃書記局長

梅村さえこさんから **メッセージ**
むとう葉子さんへ **が届きました**

日本共産党は、枝野氏から要請を受け、政権交代実現のため、9月16日の臨時国会の首相指名選挙で他の野党とともに立憲民主党の枝野氏に投票。市民と野党の共闘が一步前に進む日となり、政権交代が現実的な目標として見えてきました。菅政権の唯一の旗印が『安倍政治の継承』では、安倍さんのいない安倍内閣でしかありません。総選挙で『安倍政治』に決着をつけましょう。コロナ禍の中、失業でお金がなく、宇都宮から埼玉県川口まで歩いてきた50代男性。3月にデータ入力の仕事がなくなった32歳の女性など、相談が次々と寄せられています。「自粛と補償を一体に」の対策を怠ってきたからです。むとう葉子市議と力を合わせて政治を変えていきましょう。

お知らせ

- ◆大変残念ですが、今年は **りんご狩りともちつき会** を中止させていただきます
- ◆むとう事務所開いています
土曜日午前：10～12時
(お気軽にお立ち寄りください)



みんな～
聞いて
聞いて

みなさん お世話になりました

昭和34年4月、しもたや風の瓦屋根の町役場の前には「国民年金に入ろう」という立て看板のある風景・・・これがこれから住もうとする私の町だったのです。

川を隔てた東京では安保闘争が激しく揺れている時でした。樺美智子さんや浅沼稻次郎さんの悲劇があり、民主運動が活発になりました。

何よりも平和と平等を

戸田はその時、横山さんがただ一人共産党議員で頑張っていました。私は子育てをしながら民主運動を応援していました。明乳(明治乳業)の賃金格差の戦いや、国民を欺く政策などなど・・・思い出は尽きません。戦争を体験した私は、何よりも平和と平等を求めます。毎年行われている、8月の各お寺の「平和の鐘つき」は強く私の胸に残ります。

自分の意思で自分の生き方を決めたい

この夏、強いめまいに見舞われて、周囲の人に世話になるようになって、やむを得ず戸田を離れることになりました。私の望み・・・それは自分の意思で自分の行く道を選びたい、生き方を決めたいということなのです。どこかへ連れて行かれる、仕方なしに生かされる人生ではなくて・・・。

向こうへ行っても、余生を存分に楽しみたいと思います。皆さんも元気で人生を楽しんでください。お世話になりました。さようなら

(下前 MSさん)



街かどフードパントリー

8月30日、戸田公園駅西口ロータリーで、若者への無料の食糧支援「街かどフードパントリー」を行いました。「街かどフードパントリー」とは、埼玉県内の青年や学生たちが集まり、新型コロナウイルスで生活に困っている若者に対して生活の悩みや窮状をアンケート形式で聞きながら、無料で食糧を配布する取り組みです。6月から始め、駅や大学の近くなど10か所以上で実施してきました。



戸田公園駅(写真上)では16時半から呼びかけ始め、2時間で、用意した40食分は全てなくなりました。アンケートには生活に対する不安や困っている声が多数寄せられました。一人暮らしの専門学校生は、「コロナの影響でアルバイトの収入が減り、家賃の支払いが生活を圧迫している」と話してくれました。20代の女性は「今妊娠中で出産も間近。病院は、面会や立ち会いも時間が制限されていてほぼ一人。病院が行っていた両親学級もなくなり、出産・子育てに関する情報がもらえない」と不安を抱いていました。

要望書を文部科学省に提出

県内各地では「仕送りがないので、家賃、生活費の工面が大変」「奨学金(有利子)の返済の見通しがつかない」「手取りが2~3万円ほど減っていて、食費を節約している」などの切実な声が寄せられています。このような取り組みを通じて寄せられた、200人以上の若者や学生の声をもとに、学生への対策を求める要望書を作成し文部科学省に提出しました。これからも若者への対策を国や県へ求めていきたいと思ひます。

(下前Y.Oさん)

安倍政治 悪政



困ります



共闘の方で政治の転換を

菅義偉(すがよしひで)元官房長官が内閣総理大臣に選出されました。菅首相は、安倍政権の「継承」をうたい、めざすべき政治の在り方を「自助・共助・公助」としました。自助・共助は私たちが十分やってきたことです。まず公助をどう進めるかが、政治の役割ではないでしょうか。国民に「自己責任」を押し付け、政治や行政の役割を後退させてきた安倍政治のこの舞は、いけません。

アベ悪政の根本的な転換を

多くの国民がコロナ禍で苦しむなか、新しい政権に私たちがのぞむことは、国政を私物化し、憲法とくらしを破壊してきた、アベ政治の根本的な転換です。

第一に、憲法にもとづき、立憲主義、民主主義、平和主義を回復すること。安保法制は廃止し、自衛隊の敵基地攻撃能力の保持

は絶対認められません。

第二に、格差をただし、暮らし・家計応援第一の政治に切り替えること。「コロナ禍で苦しむ国民のくらしや営業を守るためには、大企業や資産家への課税を強化し、消費税は5%に引き下げましよう。

ジェンダー平等、野党の共闘を

第三に、多様性を大切にし、個人の尊厳を尊重する政治をつくっていくこと。政治の分野はもちろんだ、あらゆる面でジェンダー平等を貫き、男性も女性も自分らしく輝ける社会を築いてゆきましよう。

この間発展してきた、市民と野党の共闘をさらに前進させ、来る総選挙では野党による政権交代を本気でめざそうとします。



我が家のラベンダー

季節も変わり一雨ごとに肌寒さを感じる様になりましたね。今回はラベンダー精油の紹介です。ペラランダは鉢植えで6月頃に紫色の花を咲かせ、香りも楽しむ事が出来ます。抗菌、抗ウイルス、感染症予防、保湿性、鎮静作用あり。怪我の傷、打撲、筋肉痛、不眠症などの解消にも効果があります。ハーブウォーターでうがいすれば風邪、虫歯、口臭の予防にもなります(目や粘膜には使用しないでネ)。また、トリートメントでスキンケアも(顔、手、足など)、美しい肌を保つために。活性化と神経系、内分泌系、免疫系に働きかけ心身の健康の補足的予防となります。コロナやインフルエンザから身体を守るためにアロマで対策いかがでしょうか。 喜沢南 N. Mさん

アロマの風に吹かれて

③家庭に役立つアロマセラピー!

